スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県 五泉市

自 治 体 名 ： 新潟県　五泉市
担 当 課 名 ： 教育委員会　学校教育課
電 話 番 号 ： 0250-43-3911

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

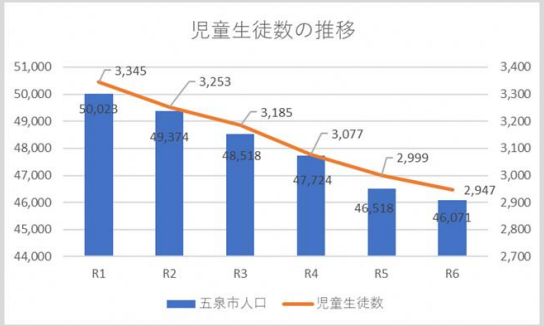
面積	351.9 ㎢
人口	45,853 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	1,054 人
部活動数	35 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

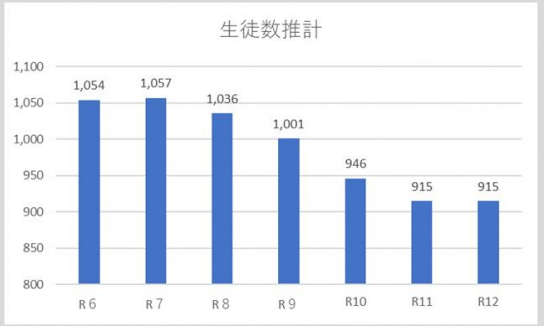
五泉市の人口減少とともに、児童生徒数も減少している。生徒数は、令和6年度の1,054人に対して、令和8年度は1,036人、令和12年度では915人にまで減少する見込みである。このまま少子化が進行すると、現在学校単位で行っている部活動は生徒数減少により廃部となったり、単独チームが編成できない、また、学校規模の縮小により専門的な指導を行える教員が配置されないなどにより維持できなくなる可能性が高くなっていく。

中学校の部活動は、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感を培うなど、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものである。また異年齢との交流の中で生徒同士や教員との人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりするなど、人格形成的にも意義が高いものである。

今後も加速化していく人口減少による社会変化の中にあっても、子どもたちが多様なスポーツ・文化活動を選択できる環境の整備を進め、未来の五泉市の子どもたちが、いきいきと活動に取り組める環境の整備を推進していく必要がある。



出典：五泉市住民基本台帳より



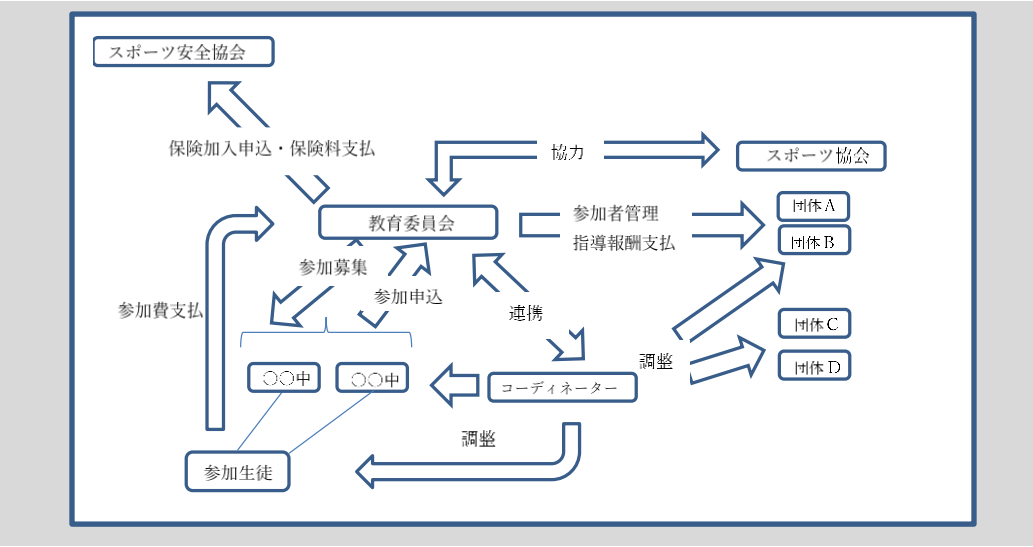
出典：五泉市立小中学校の適正配置に関する基本方針より

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・学校教育課・・・各関係機関との連絡・調整、実証事業全体の推進、部活動の在り方検討委員会の運営、謝礼・保険料の支払い、その他事務全般

・スポーツ推進課・・・スポーツ協会との連携、部活動在り方検討委員会への参画

・生涯学習課・・・文化協会との連携、部活動在り方検討委員会への参画

◉首長部局

・財政課・・・予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年4月	校長会中学部会へ推進方針及び今年度の取組についての説明
令和６年５月	今年度活動開始競技団体との連絡調整
令和６年６月	部活動の在り方検討委員会の開催
令和６年７月	地域スポーツクラブ活動開始（ソフトテニス、剣道）
令和６年７月	次年度地域スポーツクラブ拡大に向けた意見交換会の開催
令和６年8月	次年度活動に向けた競技団体との連絡調整
令和６年10月	中間検査対応
令和6年12月	次年度地域クラブ設立についての説明会
令和7年２月	事業完了報告・成果報告書の作成
令和7年３月	部活動の在り方検討委員会の開催

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2 クラブ（8 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		―
全体の指導者数	9 人	全体の運営スタッフ数	―

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
中学生地域クラブ	五泉市教育委員会	ソフトテニス※	月 2 回程度	午前9時～12時	1年生7人 2年生4人 3年生5人	令和6年7月から	五泉市総合会館ほか	5 人		年会費 800円（保険料）	中体連：部活動 その他：部活動
泉桜剣士会	五泉市教育委員会	剣道※	月 4 回程度	午前9時～11時30分	1年生4人 2年生5人 3年生1人	令和6年7月から	五泉市総合会館ほか	4 人		年会費 800円（保険料）	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

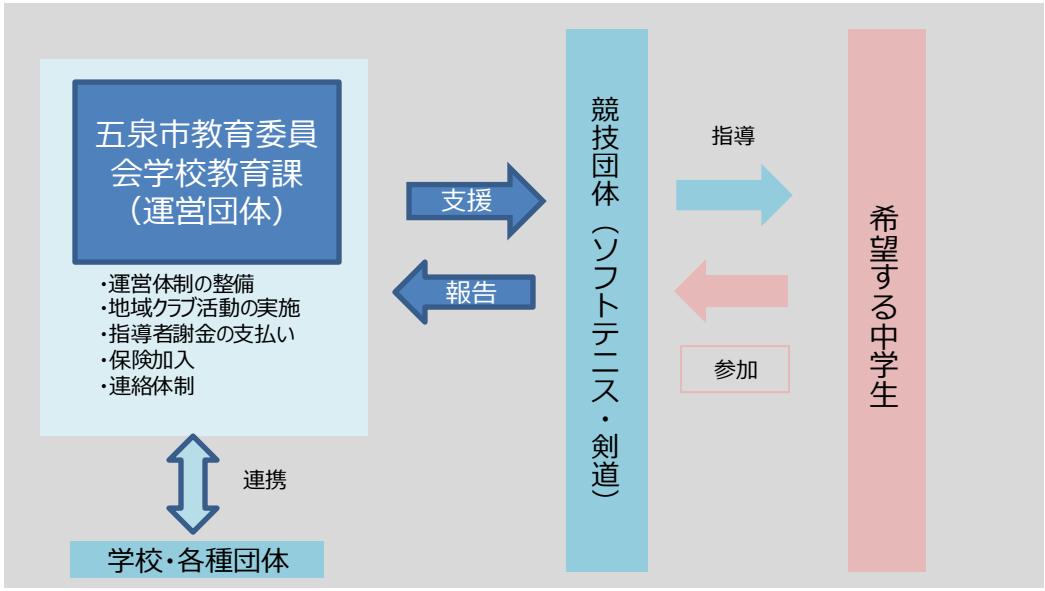
スポーツ庁

主な取組例

●五泉市教育委員会　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス、剣道
運営団体名	五泉市教育委員会学校教育課
期間と日数	ソフトテニス：７月27日 ～ ３月29日 月２回程度 剣道：７月27日 ～ ３月29日 月４回程度
指導者の主な属性	五泉市スポーツ協会加入団体指導者
活動場所	五泉市総合会館、五泉市村松体育館ほか
主な移動手段	保護者送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	保険料のみ
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●クラブ責任者

役割：地域クラブ活動における管理者として、運営団体との連携を行う

●指導者

役割：活動における生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○コーディネーターを１名配置し、関係団体・運営団体との連絡調整等を行う。

○運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の検討を行う。

取組の成果

○教員を務め、生徒への指導実績もあるコーディネーター１名を配置した。コーディネーターを教育委員会に配置したことにより、関係団体・運営団体及び中学校との連絡調整を円滑に行うことができた。

○現在は五泉市教育委員会学校教育課が運営主体となり業務を行っているが、持続可能な運営を行うためには、運営の在り方について検討が必要といった課題も発見できた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

【コーディネーター】

〇学校、指導者との連絡調整を行い、関係団体との連携を図った。

今後の課題と対応方針

〇種目拡大を図るため、関係団体と更なる連携を図る。

〇持続可能な運営について検討を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○学校と連携して進めていくため、校長会中学部会において、本市の取組及び今後の見通し等の説明を実施する
〇競技団体と顧問教員との連携を図るため、協議の場を設ける
〇部活動の在り方検討委員会を開催し、連携強化を図る

取組の成果

○校長会中学部会を訪問し学校の協力を求めた。その結果市内中学校の全ての生徒に募集チラシの配布を行うことができた。
〇各競技団体との打ち合わせや顧問教員との協議の場を設けることにより、情報共有を行い、連携を深めることができた。
〇部活動の在り方検討委員会では今年度の活動内容について報告し、連携強化を図った。

今後の課題と対応方針

○競技団体や総合型地域スポーツクラブ、民間事業者等の多様な団体に参画してもらう必要があるため、更なる連携強化を図る。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

〇学校設置の部活動種目のうち、ソフトテニス及び剣道について活動を開始する。
〇生徒は市内どの学校からでも地域クラブに参加できる。
〇生徒は部活動と同じ種目を選ばなくても興味のある種目に参加できる。

活動の詳細

参加人数	26 人	指導者数	9 人
属性	市内在住の中学生		
具体的な内容	令和６年６月10日号の広報紙において、市内在住の中学生に対して生徒募集の周知を行い、７月27日から活動を開始した。 剣道においては毎週土曜日、ソフトテニスにおていは月２回の活動を行った。		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

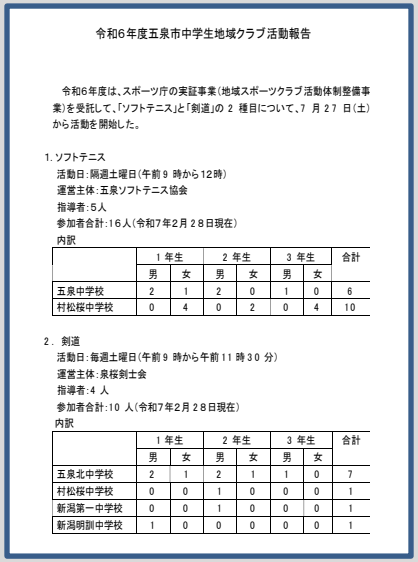
スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②

取組の成果

今年度は学校設置の部活動種目について、スポーツ協会での調査において協力可能と回答した、ソフトテニス及び剣道において活動を開始した。
参加生徒は市内在住の中学生とし、ソフトテニスは16人、剣道は10人が地域スポーツクラブに参加した。
指導者については、ソフトテニスは5人、剣道は4人が地域スポーツクラブにおいて指導を行った。



令和6年度五泉市中学生地域クラブ活動報告

令和6年度は、スポーツ庁の実証事業（地域スポーツクラブ活動体制整備事業）を受託して、「ソフトテニス」と「剣道」の２種目について、7月27日（土）から活動を開始した。

1. ソフトテニス
活動日：隔週土曜日（午前9時から12時）
運営主体：五泉ソフトテニス協会
指導者：5人
参加者合計：16人（令和7年2月28日現在）
内訳

	1年生		2年生		3年生		合計
	男	女	男	女	男	女	
五泉中学校	2	1	2	0	1	0	6
村松桜中学校	0	4	0	2	0	4	10

2. 剣道
活動日：毎週土曜日（午前9時から午前11時30分）
運営主体：泉桜剣士会
指導者：4人
参加者合計：10人（令和7年2月28日現在）
内訳

	1年生		2年生		3年生		合計
	男	女	男	女	男	女	
五泉北中学校	2	1	2	1	1	0	7
村松桜中学校	0	0	1	0	0	0	1
新潟第一中学校	0	0	1	0	0	0	1
新潟明訓中学校	1	0	0	0	0	0	1

出典：五泉市教育委員会学校教育課

今後の課題と対応方針

〇当初の計画と比較すると全体的に参加生徒が少なかった。ソフトテニス、剣道ともに初心者の参加も可能としていたが、初心者の参加も少なかった。今後は初心者でも参加しやすい活動となるよう、各競技団体と検討を進めていく。

〇市内全中学校の生徒に対し参加募集を行ったが、一部の学校のみの参加となった。原因について調査・研究を行い、だれもが参加しやすい環境づくりに努める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行なっていく必要があることから、適切な受益者負担額の設定ついて検証を行う。

地域クラブに係る経費

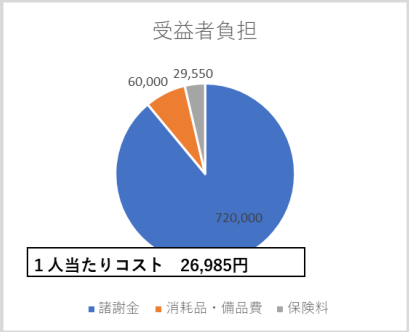
■イニシャルコストの分析

・教育委員会が運営主体のため該当なし

■ランニングコストの分析

・会場借料（０千円）※減免対象とした
・指導者謝金（544千円）
・事務局人件費（909千円）
・消耗品費（10千円）
・保険料（22千円）

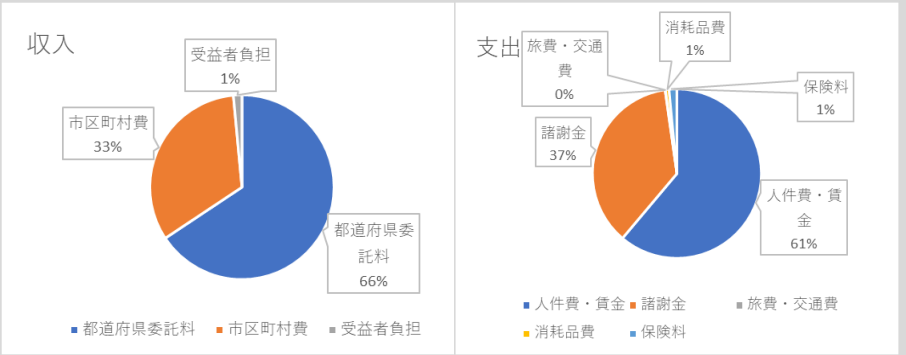
持続的な運営に必要な受益者負担額の試算



出典:五泉市教育委員会学校教育課

今年度実施の２クラブにおいて受益者負担を試算すると年間のコストは約27千円となる。持続可能な活動とするには、受益者負担をどこまで抑えられるか、また財源確保をどうするかが課題である。

収支バランス



出典:五泉市教育委員会学校教育課

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

〇地域スポーツクラブの練習会場の使用料については、関係課と連携を図り減免対象としたため費用を抑えることができた。

〇今年度は実証事業の確実な実施が主たる取り組みであったため、部活動の在り方検討委員会や校長会、顧問教員等から保護者負担経費について意見はなく、会費設定の具体的な検討までは進むことができなかった。

今後の課題と対応方針

保護者経費負担については、アンケート調査を行い、負担できる金額の把握に努める。

またその調査結果に基づき、行政支援の在り方について、部活動の在り方検討委員会において検討を進める。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

〇当初計画では、ソフトテニスは50人程度、剣道においては30人程度の地域クラブ活動の参加者として見込んでいたが、参加率は30%程度であった。

ソフトテニス・剣道ともにほとんどが経験者であり、初心者の参加が少なかった。今後は初心者も参加しすい活動となるよう検討が必要である。

●成果の評価

〇令和６年度は地域クラブ活動の取り組み初年度であったが、２つの地域クラブを発足し、参加生徒は合計26人、指導者が合計９人が指導にあたり、中学生が専門的指導を受けられる機会を設けることができた。

また初心者でも参加可能としたことにより、経験したことのないスポーツをについて、興味をもち、参加してもらうことができた。

参加者数が当初計画より少なかったことを除けば、概ね計画通りに活動を行うことができた。

●今後に向けて

〇ソフトテニスにおいては学校部活動を行わない日を設けることにより地域クラブに参加しやすい環境づくりを進める。

〇初心者でも参加しやすい活動となるよう検討を進める。

〇地域クラブ活動の種目を拡大するにあたり、指導者・練習会場の確保、学校との更なる連携を進める。

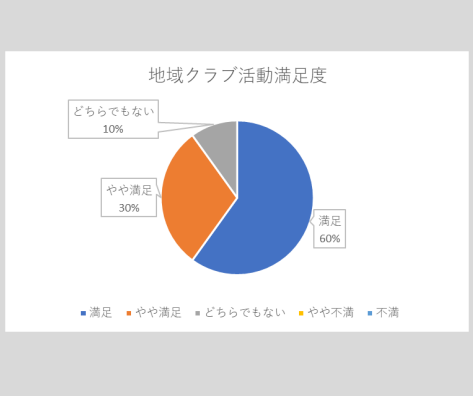
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

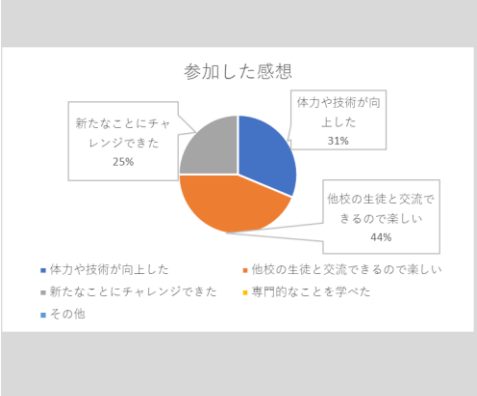
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

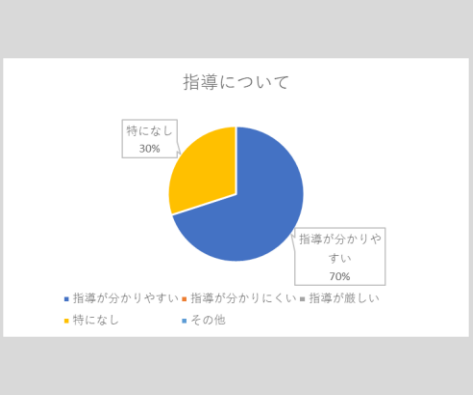
Q.中学生地域クラブ活動の満足度について



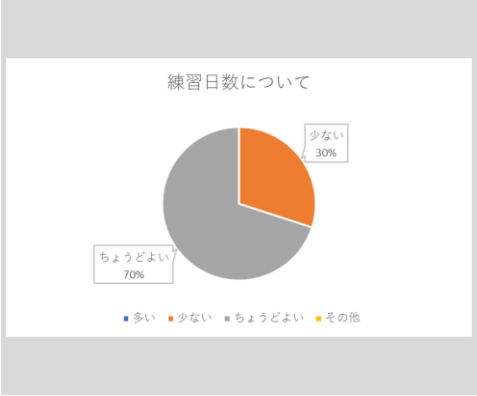
Q.参加した感想について



Q.指導について



Q.練習日数について



●参加者の声

中学１年生
地域クラブに参加することで、ほかの学校の生徒と交流ができてよかった。また指導も分かりやすくてよかった。

中学３年生
平日は学校部活で行い、土曜の内、月２回が地域クラブ活動であった。今まで部活動として行っていた土曜日の部活動の代わりとしてはちょうど良いと思います

指導者
剣道の練習会場について、熱中症事故防止のため、特に夏季期間は空調設備のある施設を使用できるようにしてほしい。

指導者
地域クラブの練習日を設定していた日に、学校行事が重なり、生徒が来ない日があった。学校との連携をもっと図ってほしい。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

アンケート結果・広報資料

地域クラブ活動の満足度については、90%が満足、やや満足と回答している。また、指導についても70%が指導が分かりやすかったと回答している。

活動日については、ちょうどよいとの回答が70%、少ないとの回答が30%あった。



生徒・保護者のみなさまへ

令和６年度実証事業　五泉市中学生地域クラブの参加募集について（ご案内）

全国的に少子化による生徒数の減少により、中学校での部活動が成り立ちにくくなり、活動内容の制限や廃部となる部活動が増えつつあります。そのような中、国では令和５年度より休日の部活動を段階的に地域に移行する取組を始めました。

五泉市でも、中学生の皆さんが継続的に自分のやりたい活動が実施できる環境を整えるため、地域の様々な方々と連携して、活動の場を作っていこうとしています。それが五泉市の地域クラブです。

この地域クラブは、学校の部活動と比較的の参加希望者による活動や、今の部活動をもっと教えてもらいたい！自分が加入している部活動以外の活動にはない種目に触れてみたい！といった多様な参加ができます。

また、活動の内容は競技力の向上や勝利を目指すことだけを目的とせず、誰でも参加可能です。学校の枠を超え、地域の指導者と一緒に活動をしてみませんか。

今年度は「剣道」「ソフトテニス」の２種目ですが、今後はスポーツ・文化芸術の活動の開始を目指して準備を進めていきます。参加を希望する中学生の皆さんは、ぜひ挑戦してみてください。

記

１　主　　催　五泉市教育委員会
２　実施種目　剣道、ソフトテニス
３　運営主体　泉桜剣士会、五泉ソフトテニス協会
４　対 象 者　市内在住の中学生（保護者の同意を得ている人）
５　実施日時　剣道　毎週土曜日（午前９時から午前11時30分）
　　ソフトテニス　隔週土曜日（午前９時から午後１時
　　※準備、後片付けの時間を含みます。なお、会場等により異なる場合があります。
６　実施場所　市内の体育施設、テニスコート等
７　定　　員　剣道　３０人程度
　　ソフトテニス　５０人程度
　　※定員になり次第締め切りとさせていただきます。
８　参加費用　800円/年額（令和６年度スポーツ安全保険料）
　　※後日、納付書を郵送します。なお、年度途中での返金はできません。
９　申込方法　裏面の専用申込フォームから申し込んでください。

問い合わせ先
五泉市教育委員会
電　話　0250-
ＦＡＸ　0250-
e-mail　gakuky

五泉市中学生地域クラブのご案内

■剣　道
１　運営主体　泉桜剣士会
２　主な指導者　市内の剣道連盟に所属する有段者が指導を行います。
３　実施日及び実施場所　第１回　7/27（土）　総合会館中ホール
　　第２回　8/3（土）　総合会館中ホール
　　第３回　8/10（土）　総合会館中ホール
　　第４回　8/17（土）　総合会館中ホール
　　※第５回以降は後日連絡します。
４　実施時間　9：00～11：30
５　持ち物等　現在持っている剣道用具、水筒、タオル、着替え等

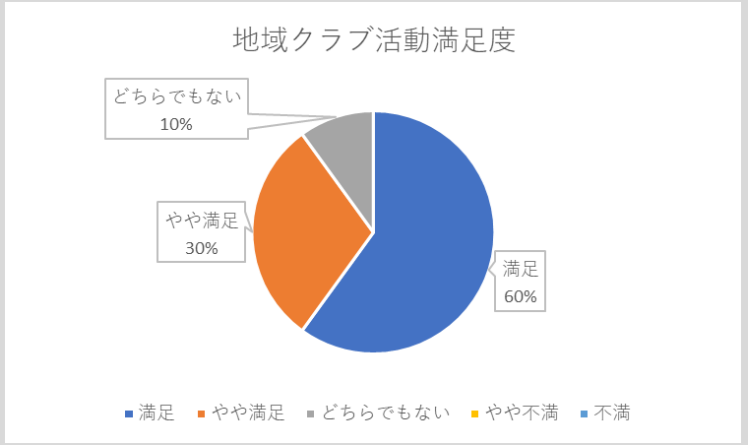
■ソフトテニス
１　運営主体　五泉ソフトテニス協会
２　主な指導者　長澤　恒生、長澤　梨奈
３　実施日及び実施場所　第１回　7/27（土）　総合会館大ホール
　　第２回　8/17（土）　さくらアリーナ
　　第３回　8/31（土）　栄森公園テニスコート
　　第４回　9/14（土）　総合会館大ホール
　　第５回　9/28（土）　さくらアリーナ
　　※第６回以降は後日連絡します。
４　実施時間　9：00～13：00
５　持ち物等　テニスラケット、運動ができる服装、運動靴またはテニスシューズ、水筒、タオル、着替え等
　　※活動場所が屋内の場合は内履き

剣道
申込フォームはこちら →

ソフトテニス
申込フォームはこちら →

【生徒への参加募集チラシ】

出典:五泉市教育委員会学校教育課



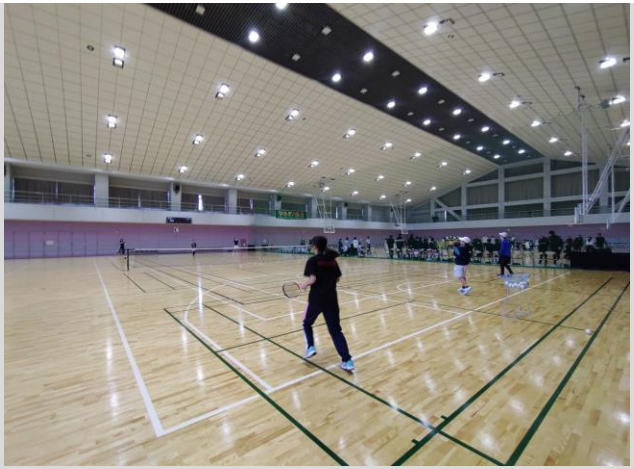
【アンケート結果】

出典:五泉市教育委員会学校教育課

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【ソフトテニス　市体育館での練習の様子】



【剣道　市体育館での練習の様子】



【ソフトテニス　市体育館での練習の様子】



【剣道　市体育館での練習の様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和４年			令和５年	令和６年	令和７年
部活動の在り方検討委員会設置	受け皿団体や指導者の選定	学校現場との調整	休日の部活動の地域移行推進方針を策定	地域クラブ活動の開始	地域クラブ活動の拡大

ステークホルダー

学校、スポーツ協会、文化協会、競技団体、生徒、保護者 、市教委（学校教育課、スポーツ推進課、生涯学習課）、コーディネーター

経過

令和４年度に「五泉市部活動の在り方検討委員会」を設置し、今後の部活動の地域移行について検討し、令和５年度に「休日の部活動の地域移行推進方針」を策定した。令和６年度は、五泉市教育委員会が運営主体となり地域クラブ活動を開始した。

実施内容

７月からは市内３中学校の２種目の部活動において、休日の地域クラブ活動を開始した。ソフトテニスにおいては月２回、地域クラブ活動へ参加する試験的な取組を開始し、剣道においては毎週休日の部活動を取りやめた 。

実施にあたって生じた課題

休日のクラブ活動において、現在は運営主体が教育委員会のため、活動場所の予約や謝金の支払い事務等を行っているが事務負担が大きい。今後どのように運営すべきか協議を進めていく。

また、種目によっては指導者の不足が大きな課題として指摘されている。関係課やスポーツ協会と連携し、指導者募集について関係者への働きかけを検討している。

今後の展開

令和７年７月からは、ソフトテニス部のある市内３中学校の６部活動において月２回の休日の部活動を取りやめ、地域クラブ活動へ参加する取組を開始する。

また、野球部のある３中学校において、４月より地域クラブ活動を実施する。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

